

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	09	01	03	0401	消防団活動活性化事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》
 消防団員の装備の充実を図り、地域防災の要となる消防団の自主的、また災害活動の更なる活性化を促進する。

《事業開始の背景》
 花巻市だけでなく全国的にも消防団員数は年々減少傾向にあり、それに加え団員の高齢化が進んでいる。それらを打開すべく地域防災の要である消防団の活動を市民へPRし新入団員数の増加、充足率の向上を図ろうとするもの。また既存団員に対しても迅速・安全な現場活動実施のため被服等装備の随時更新を行う。

《事業概要》
 ○被服の貸与
 新入団員への新規貸与及び経年劣化による被服の更新貸与
 ○活動装備の充実
 ホース更新、現場活動内容に則した装備の配備
 ○研修視察費用の費用弁償
 消防団活動先進地研修視察
 ○消防演習の実施
 日ごろの訓練成果を披露し、市民からの消防団への関心を高め充足率の向上を図る

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 消防団員充足率	%	目標	100	100	100
		実績	92.7	90.8	
② 新入団員数	人	目標	120	120	120
		実績	94	103	
③ 公務災害発生数	人	目標	0	0	
		実績	2	3	

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
暮らし	消防本部	消防本部	三浦啓一	376

		25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費		34,584				
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他	22,964				
	一般財源	11,620				

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

○消防演習の実施 1,588千円
 ◇内容 各種訓練（小隊・中隊・ラッパ・ポンプ操法・応急給食等）、放水訓練
 防災ヘリ訓練・展示、幼年消防クラブ演技 等
 ◇時期 平成25年6月2日（日）
 ◇場所 北上川河川敷
 <経費>
 会場設営等（中州架け橋・煙火・花火・除草）、借上（音響機器・仮設トイレ・送迎バス）
 参加団体謝礼、炊出し食材・看板代 等

○被服の貸与及び装備の充実 31,696千円
 ◇内容 ・現場用消防ホース 10本×4地域（更新分）
 ・背負い式水のう 188基（更新・再配備）
 ・銀長靴 150足（更新分）
 ・ヘッドライト 1,819個（新規配備）
 ※平成24年12月現在団員数-女性団員-機能別団員
 ・雨合羽 1,819個（新規配備）
 ※平成24年12月現在団員数-女性団員-機能別団員
 ・被服（活動服、半纏、編上靴、防寒衣等）更新・新入団員分
 ・防火衣90着、防火帽80個

○研修視察費用の費用弁償及び団員募集PR活動 1,300千円
 ◇内容 ・消防団幹部視察研修 消防団120年記念大会（東京） 42人
 ・団員募集PR ポスター、のぼり旗、車両貼付マグネット 等

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	09	01	03	0401	消防団活動活性化事業

総合計画	政策 5	都市内分権構築で市民参画・協働のまちづくり	施策 5-3	防災体制・減災対策の拡充
目的	消防団員の装備の充実を図り、地域防災の要となる消防団の自主的、また災害活動の更なる活性化を促進する。			
対象	消防団員			
意図	活動時の装備品充実化及び基本動作習得による今まで以上の安全・迅速・確実な現場活動の実現。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

- 被服の貸与
新入団員への新規貸与及び経年劣化による被服の更新貸与
- 活動装備の充実
ホース更新、現場活動内容に則した装備の配備
- 研修視察費用の費用弁償
消防団活動先進地研修視察
- 消防演習の実施
日ごろの訓練成果を披露し、市民からの消防団への関心を高め充足率の向上を図る

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input checked="" type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

活動指標 (上記「事業概要」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 消防活動備品支給分団	分団	計画	23	23	23
		実績	23	23	
② 消防演習参加団員	人	計画	1,820	1,820	1,400
		実績	1,352	1,293	
③		計画			
		実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 消防団員充足率	%	目標	100	100	100
		実績	92.7	90.8	
② 新入団員数	人	目標	120	120	120
		実績	94	103	
③ 公務災害発生数	人	目標	0	0	
		実績	2	3	

要因分析

達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い

新入団員数が目標達成しなかったことや、体力的な理由や転勤等により退団者もあり充足率の向上の目標達成には至っていない。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

消防団活動をPRするためには、消防演習会場により多くの市民が来場するような工夫が必要。

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	消防団員の身分は非常勤の特別職地方公務員であり、公共機関の関与は妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	既存団員による勧誘や、地域防災の要となる消防団員の活躍を今まで以上に消防演習や出初式でPRすることにより新入団員数・充足率の向上を図る。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	必要最低限の事業費で消防団活動は実施されており、また報酬・手当についても条例において定められているものであり削減の余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	地域を守る消防団員の規律・技能等の向上は、地域防災・地域減災へ繋がり、消防団活動への事業費投入は花巻市民全てが消防団員が創り出す「安心して暮らせる花巻市」を受益するものである。

《総合評価》…上記評価結果の総括

消防団員活動整備において、ヘッドライト、雨合羽を支給することにより、夜間、雨天時の災害活動の安全性が図られた。また、消防演習による日頃の訓練成果の披露することにより、地域防災の要である消防団員の活動・必要性が市民に浸透した。